

第十一回 神恩感謝

日本太鼓祭

奉納

奉祝 第六十二回 式年遷宮

奉納演奏

- 愛宕陣太鼓連響風組〈福島〉
- 高野右吉と秩父社中〈埼玉〉
- 大江戸助六太鼓〈東京〉
- 八丈太鼓の会〈東京〉
- 三宅島芸能同志会〈東京〉
- 御陣乗太鼓保存会〈石川〉
- 焱太鼓+サスケ〈石川〉
- 舞太鼓あすか組〈奈良〉
- 備中温羅太鼓〈岡山〉
- 豊の国 ゆふいん源流太鼓〈大分〉
- 熊野鬼城太鼓〈三重〉
- 神恩太鼓〈三重〉

2013

10/26^土・27^日

10:00~17:00 入場無料

※雨天の場合、内容が一部変更または中止になる場合がございます。

■会場：おかげ横丁太鼓櫓、五十鈴川河川敷特設舞台、五十鈴川野遊びどころ中庭

■主催：神恩感謝 日本太鼓祭実行委員会 ■協力：(財)浅野太鼓文化研究所 ■協賛：(株)赤福、(有)伊勢福、(株)アイティーピー
 ■後援：三重県、伊勢市、伊勢市教育委員会、(社)伊勢市観光協会、NPO法人五十鈴塾、伊勢おほらい町会議、近畿日本鉄道(株)、
 三重テレビ放送(株)、三重交通(株)、(株)ぎゅーとら、(株)ササヤマ

総合案内 電話 0596(23)8838
 〒516-8558 三重県伊勢市宇治中之切町52
<http://www.okageyokocho.co.jp/>



第11回 神恩感謝 日本太鼓祭

奉納演奏 出演者プロフィール

愛宕陣太鼓連響風組 (あたごじんだいてんきょうかぜぐみ) 【福島】

1994年夏、福島市松川町において創作和太鼓に情熱をかける男たちにより結成。郷土の象徴、愛宕山をチーム名に、「連なる響き風の如く」統制された律動、所作、そして鼓動により、観衆の心に伝わる太鼓を目指している。宮太鼓のみの演奏により、強さ、激しさ、哀愁を表現する。

高野右吉と秩父社中 (たかのうきちとちちぶしゃちゅう) 【埼玉】

秩父屋台囃子は「京都の祇園」、「飛騨の高山」と並んで日本三大曳山祭にあげられる国指定重要無形文化財秩父夜祭にて山車の中で演奏されるお囃子。当会は、昭和30年、無形文化財秩父屋台囃子保持者に指定された、初代高野右吉により結成。太鼓道場「講文館」を中心にして後継者を育成しており、現在門下生は1,025名を数える。

大江戸助六太鼓 (おおえどすけろくだいこ) 【東京】

湯島天神第1回盆太鼓コンクール優勝者の小林正道を始め、歴代入賞者が参加して、東京下町の盆太鼓を発展させ、東京初の和太鼓のみの組太鼓「助六太鼓」として活動を開始。その後、さらなる舞台芸術としての発展を目指し、「大江戸助六太鼓」となり現在に至る。

八丈太鼓の会 (はちじょうたいこのかい) 【東京】

昔、刀を失った流人が、その鬱憤を晴らすべく二本のバチに託して打ち鳴らし始めたとされる。二人による両面打ちが織りなす独自のリズムは軽やかで、また、打ち手の、日によって変わる気分を雄弁に語る。太鼓の音に合わせて唄う太鼓節は東京都の無形文化財に指定されている。

三宅島芸能同志会 (みやけじまげいのどうしがい) 【東京】

三宅島出身の津村明男(父)、和宏(長男)、秀紀(次男)、春快(三男)で構成。関東近県にて和太鼓教室、全国各地でワークショップを開催。また、国内外での公演活動も行う。父と子と一族だけの活動は世界で唯一ともいえる存在。一昨年、遷暦を迎えた明男と三兄弟の打ち込む太鼓は、聴き手の身体に音を入れる演奏を追求し、さらなる進化を続ける。

御陣乗太鼓 (ごじんじょうだいこ) 【石川】

輪島市名舟町に古くから伝わる太鼓で、天正5年(1577年)、上杉謙信の能登攻略のとき、古老の一計で、奇妙な面を被り、陣太鼓を打ち鳴らし上杉軍に奇襲をかけた敗走させたのが始まりといわれる。昭和36年に輪島市指定文化財に、昭和38年には石川県無形文化財に指定される。また、御陣乗太鼓は打ち手だけのものではなく、名舟町全体のものであり、その伝承は地元で生まれた者のみに限られている。

焔太鼓+サスケ (ほのおだいこ・さすけ) 【石川】

石川県白山市を拠点とする女性太鼓グループ「焔太鼓」と、青少年グループ「サスケ」との選抜メンバーによるスペシャル合同ユニット。打ちこみを重ねた安定感のある打奏と、研ぎ澄まされた感性によるエネルギー溢るパフォーマンスが一体となって独特の音楽性を創造。総勢21名による総合力を結集してこの日だけの、一期一会のハーモニーを奏でる。

舞太鼓あすか組 (まいだいてい あすかぐみ) 【奈良】

1990年、飛鳥大五郎により創設された和太鼓集団。和太鼓の力強さに日本舞踊の持つ優雅なフォームを融合させたスタイルで、日本の美を再認識させる舞台を創作し、国内外で公演を行っている。フランス五大国際音楽祭、イスタンブール国際音楽祭等に出演。カイロ、オペラハウスでの公演はスタンディングオベーションの喝采を受ける。世界最大の芸術祭イギリス「エジンバラ・フリンジ」での1ヶ月公演は、英国の各メディアより、5つ星の評価を得、「観衆の世代をこえた、音楽とパフォーマンスの世界共通言語がここにある」と絶賛された。

備中温羅太鼓 (びっちゅうらだいこ) 【岡山】

昭和51年、岡山県総社市に古くから伝わる「温羅伝説」に因って結成。地元総社に魅力ある郷土芸能を育て、地域へ定着させるとともに、地方から全国への文化の発信を目指して活動を続けている。総社市はもちろん、県内外、海外へと活動の場を広げ、通算公演回数は1,000回を超えている。近年は、既成の概念に囚われない曲作りや異種ジャンルとのコラボレーションなど、和太鼓の新たな可能性を見出すべく新境地の開拓を行っている。

豊の国 ゆふいん源流太鼓 (とよのくに ゆふいんげんりゅうだいこ) 【大分】

由布岳の山境、塚原峠から由布院盆地へと、響き渡るリズムや舞がある。町の中心部にある金鱗湖から湧き出た温泉が源流となって、小川、やがて大河となるよう、日本、そして世界へ故郷の音として響かせてゆく。一打で大地を激震させ、一打に人生のすべてをかける。鍛え上げられた心と肉体で男たちの魂のリズムを表現している。

熊野鬼城太鼓 (くまのきじょうだいこ) 【三重】

紀州熊野の荒々しくも美しい自然、温かい風土に育まれてきた文化や文芸、昔から語り継がれてきた民話の数々を和太鼓の力強いサウンドにのせて、広く多くの人々の心にアピールしたいという志のもと昭和63年に結成。以来、形式にとらわれない独自のスタイルの和太鼓作りに励み、観てよし、聞いてよし、人の心に響く音を求め、舞台上がっている。

神恩太鼓 (しんおんだいこ) 【三重】

1992年、伊勢神宮内宮前おかげ横丁の誕生とともに結成。今回は二次編成チーム。伊勢の風土をいっぱいと感じながら、おかげ横丁の基本精神「神恩感謝」を太鼓の音で表現すべく演奏している。

音の体験教室

『ミニ太鼓作り』

オリジナル太鼓を作っていただける体験教室です。ケヤキの胴に革を張る、ミニ太鼓とは思えない本格派の太鼓です。

- 時間: 12:30~14:00 (所要時間約90分)
- 場所: おかげ横丁「特設会場」
- 費用: 有料(両日とも先着20名)
- 受付: 当日10:00より受付
- 協力: (株)浅野太鼓楽器店

お祭り・どんどん屋台

太鼓を中心とした鳴り物玩具、法被や足袋、手拭いなど、祭り関連グッズ、衣装、季節の食べ物などが所狭しと並びます。

- 時間: 10:00~17:00
- 場所: おかげ横丁内特設屋台

期間限定メニュー

この時期おすすめ季節料理をお楽しみ下さい。

- 時間: 各料理店開店時間~なくなるまで
- 場所: おかげ横丁料理店(すし久、海老丸、とうふや、ふくすけ、団五郎茶屋、はいからさん、野あそび欄 他)

■開催場所のおかげ横丁とは?

伊勢神宮内宮前町の真ん中にある「おかげ横丁」。老舗の味、名産、歴史、風習、人情など、この土地の魅力が約50ものお店に凝縮されています。一年を通して、伊勢地方ならではの、また季節の移り変わりを楽しめる「まつり」や「市」も開催しています。

■交通のご案内

【公共交通機関で】 近鉄名古屋から近鉄特急で約85分「宇治山田駅」下車。大阪難波から近鉄特急で約110分「宇治山田駅」下車。駅から三重交通「内宮前」行きバス約20分、「神宮会館前」下車、徒歩1分。
【車で】 伊勢自動車道「伊勢IC」から、国道23号を内宮方面に直進「市営駐車場」着(約5分)、徒歩約5分。



総合案内電話 0596(23)8838
〒516-8558 三重県伊勢市宇治中之切町52
http://www.okageyokocho.co.jp/

